

令和2年度 学校経営計画

丹後学園宇川小学校

1 教育方針

教育関係諸法令、学習指導要領、京都府教育振興プラン及び京丹後市指導の重点を踏まえ、小規模校の良さを生かしながら、地域と共に豊かに学ぶ教育活動を展開し、未来を創る児童の「生きる力」を育てる教育を推進する。

2 教育目標

「夢と希望と創造性あふれる豊かな心を持ち、未来に向けて主体的に生きる子どもの育成」

3 目指す子ども像

- (1) ことばで伝え合い、主体的に学ぶ子（知）・・・学びをつくる
 - ア 基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける。
 - イ 自分の考えを持ち、伝え合い、学びを深める。（応用力・活用力）
 - ウ めあてに向かって意欲的に取り組み、振り返る。

- (2) 自分を大切にし、人を思いやれる子（徳）・・・心をつくる
 - ア 互いの良さを見付け、認め合う。
 - イ 自分の気持ちを伝え合い、共に協力し合える。
 - ウ 自分からあいさつをし、進んで人と関わり、つながる。

- (3) 粘り強く身体を鍛える子（体）・・・体・生活をつくる
 - ア 基本的な生活習慣を身に付ける。
 - イ 進んで遊びや運動に挑戦し、粘り強く取り組む。
 - ウ 健康や安全に留意し、自分の体や命を守る。

4 目指す学校像

- (1) 児童が、自ら学び・喜び・遊び・生活を創っている学校
- (2) みんなが安全で、元気に、気持ちよく活動している学校
- (3) 地域と児童と教職員が生かされ、繋がり、挑戦している学校

5 目指す教職員像

- (1) 教育的愛情と情熱、人間的魅力のある教師
- (2) 学力、豊かな人間性を身に付けさせる教師
- (3) 児童、保護者、地域から信頼される教師

6 学校経営の重点

- (1) へき地の特性や小規模校の良さを生かし、保幼小中一貫教育や地域連携、教育課程の工夫により、**特色ある学校づくり**を行う。
- (2) 丹後学園の研究と連動した新学習指導要領に基づく授業改善と個々への丁寧な指導により、**確かな学力**を身に付ける。（国語の重点研究・基礎基本の確実な定着・主体的、対話的で深い学びの授業）
- (3) 多様な人との関わりや主体的・創造的な活動をやり切ることで、**コミュニケーション能力や自己肯定感**を高める。
- (4) 規範意識・人権意識を向上させ、自分で考え判断し、より良い生活や行動ができる**自立の力**を高める。
- (5) **特別支援教育を充実**させ、個に応じたきめ細かな支援・指導を推進する。
- (6) **地域と連携強化**し、宇川を知り、宇川に愛着を持つ教育活動を展開する。
- (7) **家庭との信頼関係を下**に、**連携**を深め、家庭学習の習慣化、基本的な生活習慣の定着を図る。
- (8) 教職員の主体性と協働意識を高め、**組織的・機能的・効率的な運営**により、教育目標、目指す児童像の実現を図る。

◎本校の今年度のテーマ

「自分から、学ぶ・つながる・挑戦する」～みんなで作る楽しい宇川小～

7 学校経営計画（具体的方策と評価）

	重点目標	具体的方策	評価項目・方法
こころを伝え合い、主体的に学ぶ子	①児童にとって「わかる・できる」授業、主体的・対話的で深い学びの授業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領の趣旨に沿った授業改善について研修を行う。 ・各教科における単元デザイン・評価の在り方について研修する。 ・国語の授業研究を全学年で実施し、授業実践力を高める。 ・児童の姿や毎時間の振り返り・評価を重視して、授業づくりを行う。 	<p>全学年で重点研究の視点に沿った授業研究や実践に生かせる研修が実施できたか。児童の変容はどうだったか。</p> <p>研究推進・学力充実部まとめ 各学期学級経営評価 児童・教職員・保護者アンケート 診断評価結果</p>
	②個に応じた指導や家庭学習、読書活動を充実させ、基礎学力の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・学力テスト等での実態把握を下に、個人カルテや課題克服の具体策を考え取組を進める。 ・ドリルタイム・放課後補習等、未定着な内容の回復と個に応じた指導を進める。 ・学力強化月間を設定し、学習意欲の向上と家庭学習の習慣化を図る。 ・読書活動充実の具体化を図る。 ・認知トレーニングを行う。 	<p>補習や全校的な取組等を行い、基礎・基本の定着を図ることができたか。また家庭学習の習慣化、読書活動の充実は図れたか。</p> <p>学力充実部まとめ 各種学力テスト分析 家庭学習頑張り週間評価 児童・保護者・教職員アンケート</p>
	③多様な人と関わる学習活動を設定し、コミュニケーション能力を向上させ、学びを深める。	<p>外部人材の活用や他校との交流、合同学習、校外学習、異年齢活動等を通し、様々な人と関わり、意欲的に学習し、コミュニケーションできる場を設定する。</p>	<p>多様な人と関わる学習活動、体験活動を計画的に進めることができたか。</p> <p>各学期学級経営評価 児童・教職員・保護者アンケート</p>
自分を大切にし、人を思いやる子	④人権意識を高め、良好な人間関係の構築力や自己肯定感を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を持たせ、達成させる指導を行う。また授業、学級活動、異年齢集団活動の中で、生徒指導の三機能を意識した指導を行い、自分のよさやお互いのよさを認め、伝え合える場を設定する。 ・理解教育や人権月間の取組・道徳の指導を計画的に実施する。 	<p>授業、学級活動、学校行事、児童会の取組等で生徒指導の3機能を意識した指導を行い、児童の思いやりの心や自己肯定感が高まったか。</p> <p>特活部・生指部まとめ 各学期学級経営評価 児童・教職員・保護者アンケート</p>
	⑤学校生活で支援を必要とする児童へのきめ細かな支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・すすくサポート部を中心に教育的支援を必要とする児童を的確に把握（教育支援計画）し、具体的な支援の手立て（個別の指導計画等を作成）を明確にし、組織的に指導を進める。 ・関係諸機関や年間を通じた家庭との連携を重視し、教育支援を適切に進める。 	<p>個々の支援が必要な児童の見立てと具体的な支援の手立てを行い、評価・改善をしながら適切な支援を行うことができたか。関係機関や家庭と連携し、進められたか。</p> <p>特別支援部・教育相談・教育支援部まとめ 教職員・保護者アンケート</p>

	<p>⑥ 日常的な運動や体力づくり、基本的な生活習慣を確立させることで、強い体を作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や体育的行事、対外的な陸上競技参加、児童会の取組等を通し、運動への意欲や技術、体力を向上させる。 ・授業時間以外にも積極的に外で身体を動かし、遊ぶ指導を進める。 ・体育の実技指導の研修を行い、実践力を高める。 ・家庭と連携した元気貯金の取組や保健指導により、健康な生活習慣の意識を高め、生活を改善させる。 	<p>計画に沿った全学年の体力向上の取組が実施できたか。</p> <p>学期毎の生活点検の取組を通して基本的な生活習慣の確立が図れたか。</p> <p>体育部まとめ 生指部・特活部まとめ 児童・保護者・教職員アンケート</p>
粘り強く身体を鍛える子	<p>⑦ 規範意識を高め、安全で自分や友達の命を守る力を身に付けさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活のきまりの指導や自転車教室、非行防止教室、避難訓練等、安全に対する意識と判断力、行動力を身に付ける指導を行う。 ・安全点検や教職員の研修を行い、危機管理に努める。 	<p>学級や全校で、計画的に安全指導や取組を進め、安全な学校生活を送ることができたか。</p> <p>生指部・安全部まとめ 児童・保護者・教職員アンケート</p>
	<p>⑧ 困難なことにもねばり強く挑戦していかうとする態度を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学級、学校での取組において個々の目指す目標を発達段階に応じて明確にする。粘り強く挑戦する態度を継続させるための手立てや指導を体育、道徳の時間や学級活動、学校行事等で計画的に行う。 達成できたことへの適切な評価で次につなげる。 	<p>目標を持たせ、計画的に指導を行うことで、粘り強く挑戦する態度が身に付いたか。</p> <p>道徳部・体育部・特活部のまとめ 各学期学級経営評価 児童・保護者・教職員アンケート</p>
保護者・地域に信頼される学校	<p>⑨ 丁寧で分かりやすい情報発信と積極的な学校公開を進める。</p>	<p>学級・学校の便りやホームページで、常時児童の肯定的な評価、保護者等からの意見の反映等を意識した誌面づくりを行う。(学級通信は週1回以上発行を目標に)</p> <p>また、学校公開日(授業参観・学校行事公開等)を設け、保護者や地域住民の学校参観を促進する。</p>	<p>学校だよりや学級通信、ホームページ等で、学校の様子を分かりやすく発信したり、積極的な学校公開を進めたりすることができたか。</p> <p>各学期学級経営評価 保護者・教職員アンケート</p>
	<p>⑩ P T A・地域の関係機関等との連携を強化する。</p>	<p>P T Aと連携した取組や登下校の安全の見守り等、地域と結びついた取組や行事を進めたり、学習支援ボランティア・ゲストティチャーを活用した授業を行ったりしながら、地域と一体となった教育活動を進める。</p>	<p>P T Aとの積極的な連携を進めるとともに、地域と一体となった取組を計画的に実施できたか。</p> <p>地域・保護者アンケート 教職員アンケート</p>
	<p>⑪ 保育所・子ども園・小中学校との取組により、一貫した教育を推進する。</p>	<p>丹後学園教育目標の実現に向けて、保育所・子ども園・中学校との研修や取組のねらいを明確にし、教育課程に位置付け、一貫教育を推進する。</p> <p>※保幼小中一貫教育を「教育効果を上げる有効な手法」として活用する。</p>	<p>保育所・子ども園・中学校との取組でねらいを明確にした取組ができたか。児童に目指す力の育成は図れたか。学園の重点や研究を意識した指導ができたか。</p> <p>地域・保護者アンケート 教職員アンケート</p>

